

施策：	04	スポーツの振興	財務コード	01090701-05-601
基本事業：	02	スポーツ団体・指導者・ボランティアの育成	担当部	教育部
基本事業の成果指標	養成講座により養成された指導者・ボランティア数 スポーツ・レクリエーション指導者数（有資格者） スポーツ・レクリエーション指導者の充足度		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	スポーツ施設担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和43年度 ~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
一般社団法人筑紫野市スポーツ協会			一般社団法人筑紫野市スポーツ協会が、次の事業を実施するため補助を行う。 【主な事業内容】 ・スポーツ行事を実施及び援助すること ・スポーツに関する広報活動を行うこと ・加盟団体の育成強化と相互の連絡協調を図ること ・スポーツ少年団の育成を行うこと ・スポーツ振興について、関係行政機関の施策に協力すること ・スポーツに関する調査研究を行うこと ・スポーツに関する功労者等の表彰を行うこと						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
スポーツ協会を支援し、スポーツ協会に加入する多様なスポーツ団体の活動を促進させることで、市民が年齢や体力に応じたスポーツに関わることが出来る環境づくりを推進し、スポーツの振興を図る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
体育協会会員数		人	4,828	5,029	5,300	5,300			6,500
5. コスト									
事業費		計	千円	3,360	3,360	3,360	3,360		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	3,360	3,360	3,360	3,360				
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0.2				
正職員人件費		千円	1,563	1,605	1,676				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	4,923	4,965	5,036	3,360			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		状況 競技種目毎に毎年増減はあるものの、会員総数は増加している。 原因 スポーツ協会は加盟団体に対して、適切な組織運営を行うよう指導を行い、少年スポーツ指導者の育成や競技力向上のための研修会を開催するなど、会員確保に向けて活動している。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし		筑紫野市スポーツ協会から筑紫野市スポーツ協会への名称変更や、コンプライアンスを守るためにガバナンス強化に努めるなど、少しずつではあるが、時代に応じた変化を推し進めている。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
筑紫野市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ協会に様々な役割を果たしてもらいながら、体育協会と行政が協力しながら、市民のスポーツ活動の推進を図っていく。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
スポーツ協会を支援し、スポーツ協会に加入するスポーツ種目団体の活動を促進させることで、市民が年齢や体力に応じたスポーツをする機会の充実につながるよう、昭和43年度に補助を開始した。									